

1 派遣団員となった思いや、広島を訪れることへの抱負など。

今回、私は広島へ行って、戦争の悲惨さを目で見て、耳で聞いて、肌で感じてこようと思いました。

この前、中学校で原爆を体験された方のお話を聞く会がありました。その方は、原爆のせいで涙が出なくなり、泣きたくても泣けませんでした。私は、そういう人達のためにも、未来のためにも、広島に行って体験したことを、たくさんの人に伝えたいと思います。

広島には、美しい景色もたくさんあります。その美しい景色も、たくさんの人に伝えたいと思います。

2 広島平和記念資料館（平和記念公園）を見学して学んだことや考えたこと。

僕が、広島平和記念資料館で学んだことは戦争の恐ろしさです。

そんな被害をもたらした原爆についての説明もありました。どのようにして爆発が起こるかについてくわしくまとめられていました。広島に落とされた、リトルボーイの実物大の模型も展示されていました。

広島運命は原爆によって決まりました。広島市の原爆投下前と投下後の模型がありました。その二つの模型の変わりようにとても驚きました。最も恐ろしかったのは、被爆者の写真です。全身火傷で皮膚が垂れ下がってしまった人、髪の毛が生えなくなってしまった人などいろんな写真がありました。

3 広島市原爆死没者慰霊式及び平和祈念式に参加して学んだことや考えたこと。

いつも8月6日になるとテレビでやっていた広島市原爆死没者慰霊式に参加できてよかったです。たくさんの人が来ていてびっくりしました。8時15分の時にはみんなで黙とうをしました。このときぼくは、もう戦争はしてほしくないなと思いました。その後は、こども代表のあいさつとして広島市内の小学校6年生の2人が、原子爆弾の恐ろしさや平和についてなどを述べていました。他にも、広島市長さんや内閣総理大臣、広島県知事さん、国際連合総会議長さんなどたくさんの方があいさつをされていました。たくさんの人の話を聞いて、核兵器がこの世からなくなってほしいということや平和であってほしいと改めて思いました。これからもその気持ちを忘れずに生きていきたいです。

4 全校生徒で作成した千羽鶴を捧げてきて感じたことや考えたこと。

私たちの学校の生徒が作った千羽鶴の折紙の中には、裏にメッセージが書かれたものもあります。全校生徒の思いが込められた千羽鶴はとてもきれいに出来上がっていました。

千羽鶴が奉納された時、なんだか嬉しかったです。みんなの思いを代表として奉納できたことに感謝したいです。

奉納した後は、原爆の子の像の鐘を鳴らし、祈りを捧げました。本当に、戦争はし

てはいけないと強く感じました。

奉納されていた千羽鶴の中には、「平和」と刻まれた物や地球儀の絵になっている物、千羽以上で作ってあるなどと思われる物などたくさんありました。また、鶴ではなくメッセージだけのポスターのようなものもありました。様々な人が様々な祈りを込めて捧げているんだなと思いました。

5 被爆体験講話を聞いて学んだことや考えたこと。

講師の田川先生が生きていられたのは運が良かったからだと思いました。爆心地から 2.5 km 離れた場所でも原爆の被害は受けていたそうです。ガラスだって頭にでも刺さっていたら大変なことになっていたと思います。田川さんは、

「原爆は罪悪です・・・。」

と言っていました。その通りだと思います。

田川先生の話聞いていて驚いたことがあります。なんと日本人の中でも 8 月 6 日が何の日か知らなかった人がいたそうです。日本が唯一の被爆国なのに知らないなんてとても残念でなりません。なので田川先生には、なるべく長生きしてもらい、なるべく多くの人に原爆の恐ろしさと悲惨さを伝えてほしいと思いました。

【それぞれの感想】

・今まで、何回か原爆について聞いたり、考えたりしたことはありましたが、やっぱり、百聞は一見にしかずでした。写真で見たことのあるものがたくさんありました。実際に見ると、写真の何倍も原爆の被害が伝わってきました。色々なことを学べたこの 3 日間。この派遣団に参加できて良かったです。

・僕は、広島に行って戦争の悲惨さを学びました。そしてこの学んだことを、いろいろな人に伝えていかななくてはならないなと思うので学んだことを伝えるまでが学習だと思い、被爆者の方に聞いた、戦争のおそろしさ、原子爆弾のこわさ、被爆者の悲しみを、一人でも多くの人に伝えていきたいです。

・初めて広島を訪れてみて、資料館の展示物を見たり、式典に参加したり、講話を聞いてみたりして、戦争の悲惨さ、核兵器の恐ろしさについて理解することができてよかったです。

戦争を体験された方が少なくなっているから、この広島で見て聞いて学んだことを伝え、戦争がなく、核兵器もない世界にしていかななくてはならないなと思いました。

・広島を訪れて、戦争は絶対にしてはいけないと強く思いました。戦争をしても、笑顔や幸せが消えていくだけで、良い事は何もないと、肌で感じることができました。

家族の中で広島を訪れたのは私だけです。とても良い環境で、戦争の悲惨さや平和

の尊さについてたくさんの事を学べる貴重な体験が出来てとても嬉しく思います。

・広島について最初に見たのは原爆ドームでした。原爆ドームは何だかとても寂しい感じがしました。

資料館では今の日本には考えられないような写真や模型が並べられていてとても恐ろしかったです。

被爆者講話では原爆の恐ろしさを更に深く知り驚いたことがたくさんありました。

僕はこのような貴重な体験をして、原子爆弾（核兵器）、戦争からは悲しみしか生まれなかったと思います。

なので日本がもう二度と同じ過ちをしないためにも、こういった思いを伝えていかななくてはならないと思います。

日本だけでなく世界が戦争と核兵器のない世界になってほしいです。

以上